2-2 前ビジョンの施策の総括①

安全

●施策の取組状況

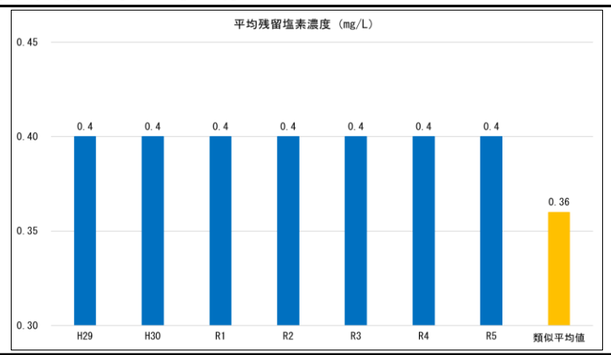
方針	施策目標	主要施策	取組状況	
安全	A 安全でおいしい水の供給	水質管理体制の強化と水質状況の把握	・岡山県西南水道企業団と連携し、水質検査結果等の情報共有を図っている。 ・岡山県水道事業広域連携の一環として、倉敷市が実施している高梁川の原水の水質試験の結果の情報共有を図っている。 ・水質検査を定期的に実施している。令和7年度からはPFOS・PFOAの検査を従来の検査に追加して実施し、検査結果をホームページで公表している。	○継続中
		水質検査計画の作成と公表の継続	・水質検査計画の更新等毎年3月末に行い、ホームページで公表している。	○継続中
		水安全計画の作成及び公表	・令和元年度に水安全計画を策定し、令和2年度4月１日にホームページで公表した。	◎対応済み
	B お客様への情報公開	お客様への積極的な情報提供、広報活動	・ホームページや出前講座において、経営の状況、事業活動の状況など情報提供を行い、活動の「見える化」を図っている。	○継続中
		市民の声（要望・苦情）の整理・分析	・要望，苦情等があった場合には，情報共有を図り，対応している。	○継続中

●業務指標の抽出

業務指標
A101　　平均残留塩素濃度
給水栓での残留塩素濃度の平均値であり、水道法では0.1mg/ﾘｯﾄﾙ以上を満たすことが必要であり、0.4mg/ﾘｯﾄﾙ程度以下がおいしい水の要件とされている。

●業務指標の推移

類似団体：給水人口3万人以上5万人未満の水道事業体



●施策の総括

（業務指標の評価）

平均の残留塩素濃度…0.4mg/ﾘｯﾄﾙを維持しており、良好な給水水質を維持できています。

（実施した施策）

水質検査結果をホームページで公表しています。

岡山県西南水道企業団と水質に関する情報共有を行っています。

近年、夏は平均気温が高くなっているため、気候変動に応じた塩素の注入を行っています。

（今後の方向性）

ＰＤＣＡサイクルに基づく計画の維持向上に努め、原水から量水器に至る一体的な水質管理体制の構築に努めます。

2-2 前ビジョンの施策の総括②

強靭

●施策の概要

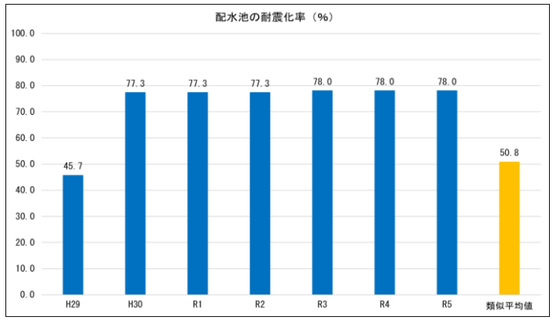
方針	施策目標	主要施策	取組状況	
強靭	C 水道施設の耐震化	主要構造物・管路の耐震化	・神外接合井の更新工事を実施した。(令和2～3年度) ・更新計画を改訂し、AIによる管路診断結果を反映した更新の順位付けを行っている。(令和6年度) ・老朽管路の更新及び耐震化を更新計画に沿って、国の交付金を活用しながら実施している。	○継続中
	D 広域的連携の強化と広域化の検討	広域的連携の強化、広域化	・日本水道協会岡山県支部及び福山市主催の研修会・給水訓練に参加し，非常時には相互応援ができる体制を整えている。 ・岡山県水道事業広域連携推進検討会における事業として、衛星画像による漏水調査業務を共同で実施した。(令和7年度) ・岡山県水道事業広域連携推進検討会において、広域化に向けた取組について協議を行っている。	○継続中
		緊急時の給水体制の強化	・福山市と篠坂地区・茂平地区との間に緊急時連絡管を整備した。(令和7年度)	○継続中
	E 水道施設の計画的な更新	配水池等の更新及び施設規模の適正化	・更新計画に沿い、計画的に実施している。	○継続中
		給水エリアの見直しに伴う施設の更新	・給水エリアの見直し及び基幹管路のダウンサイジング等の検討を行なっている。	○継続中
		老朽管の更新	・老朽管路の更新及び耐震化を更新計画に沿って、国の交付金を活用しながら実施している。	○継続中
	F 水道施設の災害対策の強化	危機管理マニュアルなどの作成	・風水害、地震対策、管路事故・給水装置凍結事故対策、施設事故・停電対策、水質汚染事故対応、テロ対策、渇水対策マニュアルを作成済み。	◎対応済み
		人為的災害の予防	情報セキュリティ基本方針を作成した。(令和4年度)	○継続中

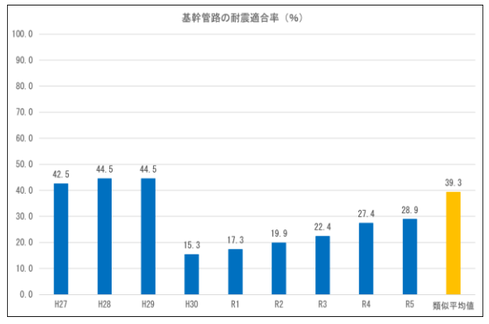
●業務指標の抽出

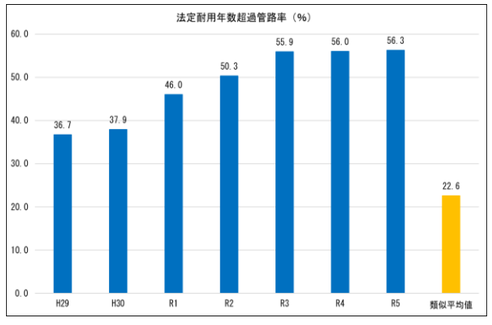
業務指標
B604(2209)　配水池の耐震化率
全配水池のうち耐震対策の施されている配水池の割合
B606-2　基幹管路の耐震適合率
基幹管路とは、導水管、送水管、配水本管などをいう。耐震管以外でも、良好な地盤に埋設されている場合は、耐震適合管と評価できる場合がある。
B503(2103)　法定耐用年数超過管路率
給水区域に布設されたすべての管路の内、耐用年数(40年)を経過した管の割合を示す。
B504(2104)　管路の更新率
年間に更新された導・送・配水管の割合を示す。 40年サイクル…2.5%、100年サイクル…1%

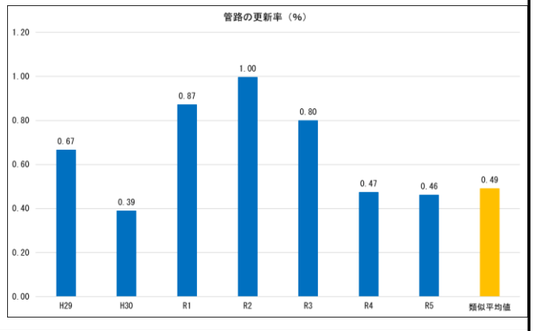
●業務指標の推移

類似団体:給水人口3万人以上5万人未満の水道事業体









●施策の総括

(業務指標の評価)

基幹管路の耐震適合率……基幹管路の耐震適合率は令和５年度末で28.9%となりました。引き続き、管路更新と並行した耐震化を促進することが必要です。

法定耐用年数超過管路率…過去に集中して整備した管路が法定耐用年数を迎え、管路経年化率は56.3%と類似団体より高くなっています。

管路更新率……管路更新率0.4%程度であり、引き続き、計画的に更新を行う必要があります。

(実施した施策)

令和６年度に笠岡市水道事業更新計画を改訂しました。この改訂では、ＡＩによる劣化予測診断結果を反映させて管路の更新順位を設定しており、より効率的、効果的な更新を図っています。

(今後の方向性)

更新計画に基づき、老朽施設・管路の更新を実施します。老朽基幹管路及び配水支管の更新においては，耐震管を使用し，耐震適合率の向上を図ります。

2-2 前ビジョンの施策の総括③

持続

●施策の概要

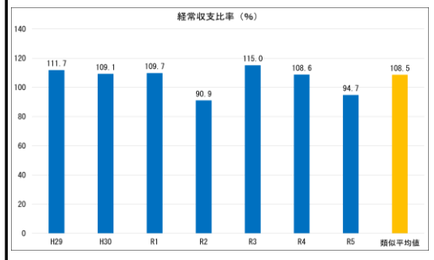
方針	施策目標	主要施策	取組状況	
持続	G 技術の継承と人材育成	技術の継承及び人材育成	・水道経験があるOB職員から技術の継承を図っている。 ・日本水道協会が実施する技術研修会及び相互応援訓練へ参加している。 ・福山市が実施する技術研修会及び合同防災訓練へ参加している。	○継続中
	H 経営の効率化	事業運営の効率化、経営戦略の策定	・令和2年度に経営戦略を策定し、, 令和7年度に改訂を行なった。 ・経営戦略に基づいた予算により，管路等の更新工事を実施している。	○継続中
		民間への業務委託	・漏水対応業務等の他市町との共同委託について検討を行っている。	○継続中
	I 施設等における規模の適正化	施設規模の適正化	・更新計画の改訂の中で，施設のダウンサイジングについて検討し，計画に反映させた。	○継続中
	J サービスの充実	サービス利便性の向上、窓口サービスの充実	・水道料金の支払いに電子マネーを使用可能とした。 ・平日夜間・休日の収納・開閉栓に対応している。	○継続中
	K 省エネルギー対策の推進	環境負荷の低減	・庁舎の照明器具のLED化を進めている。 ・加圧室等の水道施設の照明器具のLED化を進めている。	○継続中

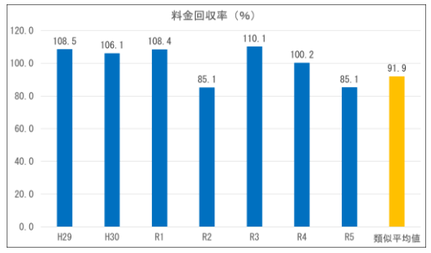
●業務指標の抽出

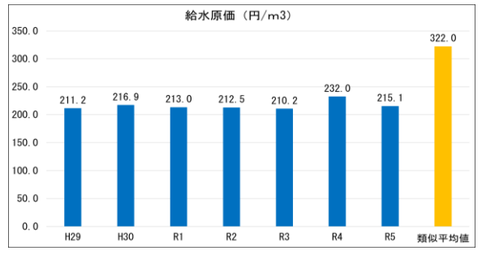
業務指標
C102 経常収支比率
経常費用が経常収益によってどの程度賄われているかを示す。
C113 料金回収率
供給単価と給水単価との関係を見るものであり、料金回収率が100％を下回る場合、給水に係る費用が給水収益以外の収入で賄われていることを意味する。
C115 給水原価
有収水量1㎥あたりの給水に要した費用を表す。
B112 有収率
配水量のうち、水道料金の対象となった水量の比率を表す。
B104 (3019) 施設利用率
施設の能力をどの程度平均的に利用しているかを表す。値が大きいほど効率的に施設を利用していることを表す。

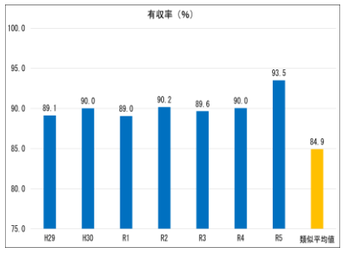
●業務指標の推移

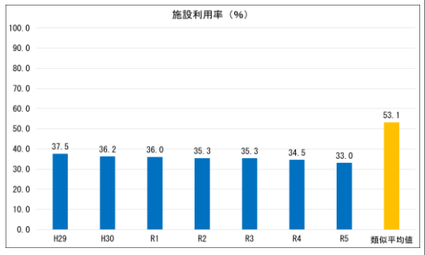
類似団体:給水人口3万人以上5万人未満の水道事業体











●施策の総括

（業務指標の評価）

経常収支比率、料金回収率、給水原価、有収率…概ね良好に推移していますが、人口減少に伴う給水収益減少も想定され、今後の更新投資に備えるため、適正な経営水準を維持する必要があります。

施設利用率…水需要の減少に伴い、低下しています。過大な施設規模は、経営効率の低下を招きます。

（実施した施策）

技術研修会へ参加し，技術の向上に努めました。

令和６年度に笠岡市水道事業更新計画を改訂した際に，施設のダウンサイジングについて検討し，計画に反映させました。

（今後の方向性）

経営戦略に基づく効率的な事業運営を行うとともに，技術職員の技術の継承及び人材育成に努めます。